

教育研究所だより

教育図書室 休館中

発行
岡崎市教育委員会
教育研究所
☎83-7770

教育界も新たなフェーズへ

教育研究所 所長補佐 浅井 貞人

新年、明けましておめでとうございます。本年も教育研究所の活動に対する御協力をよろしく願っています。

さて、令和二年度は小学校で新学習指導要領が完全実施され、新たな学びの構築に向けて期待が膨らみました。中央教育審議会の初等中等教育分科会が公表した『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（中間まとめ）では、子供が持続可能な社会の「創り手」となるよう、今後目指すべき学校教育の姿を示しています。本市においても、超スマート社会の到来を見据えた「岡崎版GIGAスクール構想」の推進により、各学校のICT環境は飛躍的に整いつつあり、子供の学び方に大きな変化をもたらしています。しかし、学習環境を整え、学び方を変化させただけでは、教育の質を高めることはできません。

また、働き方改革という社会全体の流れも、私たち教職員に大きな影響を与えています。教師が健康を保ち、働きやすい環境づくりへの転換が図られる一方で、教師相互のコミュニケーション不足が懸念され、教師の力量向上に影響を与えるのではないかと危惧します。

こうした状況の中、教員の「専門性」「指導力」等の向上を目指した教育研究所の果たすべき役割は大きいと考えます。昨年度より始まった総合学習センターの改修工事は、新たに建て替えられた多目的ホールが間もなく完成を迎えます。研修棟には、「ICT室」が新設され、実習等を含めた様々な活用が可能となります。四月からは充実した施設で、より内容の濃い研修ができると思っております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、その脅威は今もなお続いています。そんな中ではありますが、新たなフェーズへ移行しつつある教育界に対応するため、教育研究所は、時代の要請に即した教員の育成を目指していきます。

研究所アラカルト

今月より教育研究所だよりを再開します。
よろしくお願いいたします。

新築された多目的ホールの一部を紹介します。



① 多目的ホールの外観



② 総合学習センター全体の外観

多目的ホール

研修棟

体育館

※ ①、②の写真は総合学習センター東側道路から見た外観です



③ 正面入り口から多目的ホールへの通路



④ 多目的ホールの内部

工事は着々と進んでいます。
快適なホールで有意義な研修ができそうです。